

AEDの仕組みについて

最近、柿原工業にAEDが導入されましたが、皆さんはAEDの仕組みについてご存知でしょうか？
ご存知の方も多いと多いと思われますが、この場を借りて改めてご説明したいと思います。

・AEDについて

AED(自動体外式除細動器)とは、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

2004年7月より医療従事者ではない一般市民でも使用できるようになり、

病院や診療所、救急車はもちろんのこと、空港、駅、スポーツクラブ、

学校、公共施設、企業等人が多く集まるところを中心に設置されています。

AEDは、操作方法を音声でガイドしてくれるため、簡単に使用することができます。

また、心臓の動き(心電図)を自動解析し、電気ショックが必要な方にのみ

電気ショックを流す仕組みになっています。

2022年中に一般市民の方がAEDを使用した事例は、1,229件となっています。

※令和5年版 救急・救助の現況



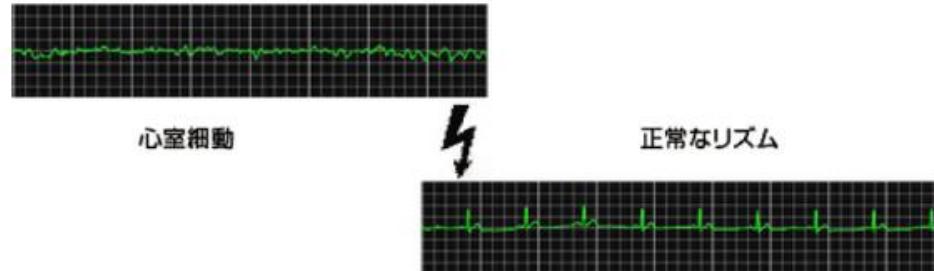
・心室細動について

心室細動とは、心臓の筋肉がけいれんをしたような状態になり、

全身に血液を送るポンプ機能を失った状態になる致死性不整脈の一つです。

心室細動の唯一の治療方法が、除細動器(AEDを含む)で電気ショックを与えることだと言われています。

そして、AEDの使用とあわせて、私たち一般市民が胸骨圧迫や人工呼吸を行うことで1人でも多くの方を救うことができるのです。



・1分1秒でもはやく

電気ショックは心室細動であれば、どんなときでも成功するものではありません。

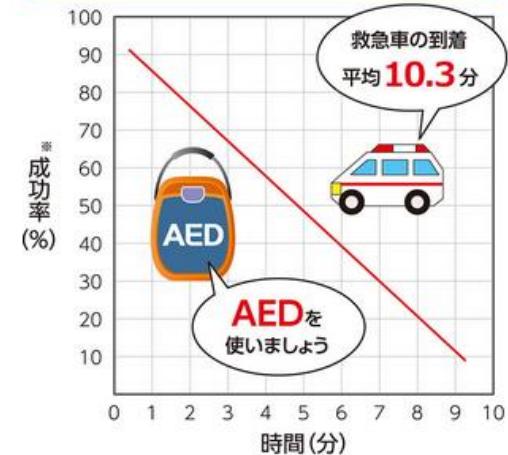
時間との勝負です。一分一秒でも早く電気ショックを行うことが重要です。

電気ショックの成功率は1分ごとに約7~10%低下します。

日本では、救急車の到着まで平均10.3分です。

成功率を上げるためにには、救急車が到着する前に傷病者の近くにいる私たち一般市民がAEDを使用して電気ショックができるだけ早く行なうことが重要になります。

成功の可能性が1分ごとに7~10%低下



参考文献:AHA心肺蘇生と救急心血管治療のための国際ガイドライン2000

令和5年版 救急・救助の現況

<https://www.aed-life.com/information/aed/>

※成功率:ここでは生存して退院する可能性をいう

・最後に

柿原工業では、2024年6月7日に30人余りが操作講習を受けて、操作方法を学んでおります。
AED設置場所は**本社**、**第二工場**、**草戸**の各工場へに備え付けしております。

もしもの際を考えて、どこにAEDがあるのかを頭の片隅に入れておいて頂けますと幸いです。

※右の絵は第二工場の設置場所

